ISSN 0289-3827

京都女子大学

# 食物学会誌

第 46 号

# JOURNAL OF FOOD SCIENCE

KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY

(Kyoto Joshi Daigaku Shokumotsu Gakkaishi)

NO. 46

京都女子大学食物学会

FOOD SCIENCE SEMINAR
KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY

December 1991

# 食　物　学　会　誌

第 4 6 号

## 目　　次

**総　　説**

食品中抗変異原の細胞遺伝学的研究……大　江　　武…… 1

**研　究　報　告**

神経性食思不振症……新　保　愼一郎……13

不淘洗米の食味について……池　田　ひ　ろ……18

**資　　料**

食品中に含まれる微量金属量の測定—Se, Mn, Cu, Zn, Al について—

……臼井　朋包，奥島　雅子，木下　志子，中　　倫子，

松原　和美，松岡　利佳，謝名堂昌信，大井　龍夫……26

# 京都女子大学食物学会誌投稿規定

1. 原稿は食物学科に関係のある研究報文，調査，総説，自由論叢，研究室だより，学級，卒業生だより，実習記および見学記などとする。

投稿者は本会会員ならびに食物学科卒業生とする。原稿には前記区分明記のこと。

2. 原稿の取捨は編集会議一任のこと。

また，原稿中の字句については，加除，修正を行うことがある。

3. 研究報文は他誌に未発表のものとする。

4. 原稿は必ず本会所定の原稿用紙を使用し，報文の長さは27枚以内（刷上り6頁以内）とする。

原稿用紙4.5枚が約1頁に相当し，凸版図または写真版図共に 6×9 cm 挿入の場合はこのスペースは約500字に相当する。

5. 原稿の書き方は下記の通りとする。

(1) 論文の表題の下に著者名を書き，つづいて英文表題とローマ字著者名を記載する。

(2) 原稿第1枚の脚注に著者の勤務先あるいは所属機関の公称名および所在地とその英訳名を書く。

(3) 文章は平かな，当用漢字を用い，現代かなづかいにより，化学用語は文部省学術用語による。外国語音訳にはかたかなを用いる。

(4) 本文の区分はポイントシステムにより，大見出し，中見出し，および小見出しを明確にする。なお，小見出し以下の区分はアルファベットによる。

〔例〕 I. 実験
1. 実験方法
1) 試料の調製
A. 試料

(5) 句読点およびカッコには1こまを与える。ハイフンは1こまの中に明瞭に書く。新しい行の初めは1こまあける。

(6) 一般に通用している物質名，術語などに対しては外国語を用いないこととする。

(7) 原則として本文中に元素名，かんたんな化合物名称の代りにその化学記号，化学式を用いない。

(8) 数字はすべてアラビア数字を用い，数量は原則として C. G. S. 単位を用いる。数量および術語の略字などは次の例による。

m（メートル），cm(センチメートル)，$m^2$(平方メートル)，$m^3$(立方メートル)，ml(ミリリットル)，l(リットル)，mg(ミリグラム)，g(グラム)，kg(キログラム)，°C(摂氏度)，%（パーセント），pH(水素イオン濃度)，b. p.（沸騰点），f. p.（凝固点），m. p.（融点），cal（カロリー），kcal（キロカロリー），hr.（時間），min（分），sec（秒），MW（分子量），V（ボルト），kV（キロボルト），A（アンペア），mA（ミリアンペア），W（ワット），Atm（気圧），N（規定度），M（モル濃度）

(9) 表，図および写真の番号は表1，表2，……，図1，図2，……，写真1，写真2，……，のように表わし，表の説明は表の上に，図および写真の説明は図および写真の下に書く。

(10) 図は白紙または淡青線方眼紙に墨書きし，図の中の文字は必ず鉛筆で書く。

(11) 図および写真は本文中に挿入箇所を明示して，別に添付する。

(12) 本文および文献中の雑誌名には——，雑誌巻数には〰〰の下線をつける。——はイタリック体，〰〰はゴシック体となる。

(13) 本文中の引用文献番号は片カッコをつけて肩に小さく書く。文献は本文の最後に通し番号順に列記する。

(14) 引用文献は著者名，雑誌名（書名），巻数，頁数，年号の順に書き，(12)の注意の如く，それぞれ下線をつける。

〔例〕 A. Haas, B. Hill: *Biochem, J.*, **29**, 986 (1932)

(15) 引用文献の略し方は原則として日本化学総覧および Chemical Abstracts の規定による。ただし，食物学会誌を引用するときは“本誌”と略す。

(16) 脚注は *,** で示し，各ページごとに記載する。

6. 校正は著者が行うことを原則とする。

7. 総説，研究報文，自由論叢については希望者に対し別刷20部を贈呈する。それ以上の希望数に対しては実費を申しうける。希望者は希望数を投稿カードに記入する。

京都女子大学　食物学会誌　第46号（非売品）

平成３年12月４日　印刷
平成３年12月10日　発行

編集委員代表
編集者　安　福　英　子

発行所　京都女子大学食物学会
京都市東山区今熊野北日吉町
京都女子大学家政学部内
電話（５３１）７１５３（〒６０５）

印刷所　中西印刷株式会社
京都市上京区下立売通小川東入ル
電話（４４１）３１５５～８